

ひろば

No. 7

令和4年 11月25日発行

「花さき山」という絵本

最近はめっきり秋らしくなって、朝晩は寒く感じる日も多くなりました。子どもたちだけでなく先生方も体調管理を願う今日この頃です。

さて、11月14日(月)から11月25日(金)は御南小学校の読書週間です。児童朝会では、図書館で見つけた、「花さき山」という絵本を紹介しました。「花さき山」は今から50年前に斎藤隆介さんという児童文学作家が書いたものですが、大まかなあらすじはこのようなものです。

「あや」という10歳の女の子が祭りの煮しめに使う山菜を採りに山に入りました。山奥であやは山姥（やまんば）に出会って、あたり一面に咲き乱れる美しい花を見ました。山姥はあやに、美しい花の秘密を教えます。

「この花は、ふもとの人間がやさしいことをひとつすると、ひとつ咲く。お前の足元に咲いている赤い花、それはお前が咲かせた花だ。昨日、おまえの小さい妹が祭りで着る赤い晴れ着がほしいと母親を困らせた時、自分の晴れ着を我慢して妹の願いをかなえたお前のやさしさが咲かせた花だ。母親はどんなに助かったか。妹はどんなに喜んだか。お前はさぞかしせつなかつただろう。この赤い花はどんな祭りの晴れ着の花模様よりもきれいだ。そこにある小さい青い花は、幼い双子兄が弟のために我慢をした、しんぼうの涙が咲かせた花だ。花さき山一面に咲いている花はみなこうして咲いたんだ。辛いことをしんぼうして、自分のことより人のことを思って、涙をいっぱいためてしんぼうすると、その『やさしさ』と『けなげさ』がこうして花を咲かせるのだ。

やさしいことをすれば花が咲く。命をかけてすれば山がうまれる。この山は八郎という山男が八郎湯に沈んで高波を防いで村を守った時に生まれたのだ。」山姥（やまんば）の話はあやの心にすがすがしくしみこみました。

山から帰ったあやはその話をしましたが、誰も信じてくれません。それでも、あやは人のためにやさしい思いで何かするたびに「あっ、今、花さき山で自分の花が咲いている。」と思いました。

この絵本を読んだことのある方がいるかもしれませんが、私はこの絵本を読んで、「人を思いやって行動することはなかなかできることではないな！すごいことだ」と思いました。自分の心の中にある『花さき山』に美しい一輪の花を咲かせる、たったそれだけのことなのですが、「やさしい気持ちを持ち、人のために行動すること」って、実際には簡単なようで相当大変なことです。最近をよく「自分のことだけで精一杯で、人のことを考えるゆとりもなくって、身勝手な行動が行われることが多い時代」なんて言われています。だからこそ、人のことを思いやって行動しようとする気持ちは大切にしたいところです。「自分さえよければそれでよい」だとか「人よりも自分が何より大切」とばかり考えていると、自分に都合の悪い結果になった時には、他人のせいにしたりして残念なことになってしまいがちです。この「花さき山」の絵本は、どのような気持ちで行動することが大切かを教えてくれたステキな絵本でした。と同時に、普段から6年生や5年生の高学年の子どもたちが、いいお手本になってくれているのがありますが、子どもたちの学校での勉強や生活の様子、参観日での頑張り、音楽参観日に向けての練習での集中力と高い意識、あたりまえのことがふつうに当たり前に行われている姿などを見ていると、御南小学校にも「花さき山」のように一輪の花がどんどん咲きそうだなと感じた瞬間でした。

校長 菅野 純郎

3年 舟ゆうさん

3年生は、学区の歴史について調べています。11月7日（月）、「舟ゆうさん」を体験しました。地域の方の協力で、田船に乗せていただき用水路を巡る活動ができました。昔、御南学区は川船を使って人や物の行き来が盛んに行われていました。日ごろ見慣れた地域の景色も、田船から見ると、新しい発見があったことと思います。

子どもたちは、「舟ゆうさん」の体験を通して、昔のくらしや人々の願いに思いをはせることができました。今年度も子どもたちに「舟ゆうさん」をぜひ体験させたいという地域の方の熱い思いで実現できたことに、深く感謝申し上げます。



いもほり！1年

1年生が、生活科の学習で、春に学級園に植えたサツマイモを収穫しました。地域にお住いの横野さんを中心に、大勢の方が、サツマイモの植え方や世話の仕方などについて教えてくださいお世話もしてくださいました。

おかげさまで、今年も豊作でした。たくさんの芋を収穫することができ、子どもたちも笑顔いっぱいでした。子どもたちの顔くらいある大きな芋もとれました。

まさに、「収穫の秋」「実りの秋」を満喫することができました。



USAGI メール登録のお願い

緊急時（学校行事の中止や変更、学級閉鎖や解除、災害時、その他の急を要する連絡等）、場合によっては、USAGI メールでお伝えすることがあります。まだ登録されていない保護者の方は、この機会にぜひご登録をお願いします。

1～4年 授業参観 全学年 懇談

11月9日（水）、1～4年生は、授業参観を行いました。コロナ禍の影響を受け、保護者の皆様には、参観時間や参観人数等、色々ご協力を賜り、ありがとうございました。

また、今年度初めての懇談会を、全学年、行いました。担任から子どもたちの様子を伝えたり、保護者の方から話を聞いたりすることができました。



保護者の皆様、お忙しい中、お越しくださりありがとうございました。また、感染症対策にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

5・6年 音楽参観

11月11日（金）、5・6年生の音楽参観を行いました。コロナ禍の影響を受けなかったら、全学年、体育館で音楽発表会を行う予定でした。しかし、今年度も感染症対策を講じながら、5・6年生が体育館で発表をしました。

どちらの学年も合唱、リコーダー奏、合奏を1曲ずつ演奏しました。普段の音楽の授業で学習した成果が発表できるよう、5・6年生の児童は、よく頑張りました。休み時間も返上して練習に力を注ぎました。

保護者の皆様に聴いていただき、盛大な拍手をもらって、達成感いっぱいでした。保護者の皆様には感染症対策に、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。



6年 室町文化体験

11月1日(火)、6年生が生け花体験をしました。講師の方をお招きして、実際にお花を生けました。

生け花は、室町時代からさかんになり、その後も発展し、現在では様々な流派があり、日本だけでなく海外でも親しまれています。

6年生は、カーネーション、スターチス、リンドウなどの花材を生けました。初めて経験した子どもたちも多く、真剣に取り組んでいました。花の高さや、向きなどを考えながら花が美しく見えるように生けました。

社会科で学習したことを想起し、室町時代の文化に親しみ、楽しむことができました。



4年 備前焼体験

11月4日(金)、備前焼の窯元の方をゲストティーチャーにお招きして、備前焼について話を聞き、ろくろの実演を見たり、自分でも土ひねりを体験したりしました。

4年生は社会科で自分たちの住んでいる岡山県について学習しました。備前市の伊部地区で備前焼がさかんに作られている理由について調べました。子どもたちは岡山県に親しみをもったことと思います。



5年 社会科見学

JFE 工場, 倉敷科学センター

11月8日(火)、5年生は、社会科見学に行きました。社会科で、自動車産業について学習していますが、その中で鉄鋼業のことも学びました。実際に工場を見学して教室での学習を確認することができました。

また、倉敷科学センターでは、理科や算数のすばらしさを見つけることができたことと思います。ちょうど皆既月食と重なっていて、天体のことも興味がもてました。

